平成30年度実施プログラムアンケートの主な意見・感想

感想・意見(参加者)

《実施者と受講生との交流》

- ・先輩方が優しく話しかけてくれたりわからないことを優しく教えてくれたり相談に乗ってくれたりして、すごく安心して楽しく1日を過ごせました。
- ・休憩時間などで大学生との交流もたくさんできたのが良かったです。
- ・現役生の方々からもたくさんお話を聞くことができ、これからの高校生活に役立てていけることや大学生活について知ることができたので良かった。
- ・大学で他高の生徒とイベントが出来る為、とても良い経験をさせて頂きありがとうございました。

《参加者の募集について》

- ・学校に広告をくださると参画もしやすく人も増えると思う。
- ・学校に配られたチラシを見てこのプログラムに参加しようと思った。遠目でしか見れなかったもの、見たことがないもの、普段できない素晴らしい体験ができて、楽しかった。
- ・部活や学校の課題が多いので半日くらいのプログラムにしてもらえると参加しやすいです。
- ・半日の講座でしたが、ボリューム的に1日の講座としても良いかと思います。少しかけ足ぎみで、ゆっくり実験や見学ができれば、より良かったかと思いました。
- ・土曜日だと学校(中学校)を休まなければならないので、日曜日開催が良いです。
- ・今日、参加するにあたり、会場案内、時刻表まで郵送して頂きありがとうございました。
- ・今日は先着順だったため参加できましたが、競争率が高く、なかなか参加することが出来ないのが残念です。

《将来・研究者について》

- ・最初はすごく緊張しましたが、先生や先輩方が明るく接して下さって、とても楽しく活動できました。どれも貴重な経験で、国際に興味がある自分にとって将来を考える良い材料にもなったし、研究者という道も視野に入れたいと思えました。
- ・微生物学という分野が元から好きだったこと、しかも研究ということでとても期待して参加させてもらった。今日は期待以上にたくさんを知り体験でき満足です。将来研究したいという思いが強まりました。
- ・将来について悩む中、このような機会に参加できて、少しでも自分の進路について参考になるように講義を聞いてよかったです。友達にさそわれて少し興味が湧き、自分の進路が広がったのでよかったです。
- ・将来の夢はまだ決まっていませんが、私は理科、科学が好きです。何をやるにも不器用ですが、先生がおっしゃったように「学生は失敗しても大丈夫！」この言葉を旨にたくさんのごことにこれからチャレンジしていきたいです。勉強も頑張ります。

《内容について》

- ・オープンキャンパスでは体験できないことなので、参加して良かったと思います。
- ・普段、先生方や学生が研究している事を一般の人が知る事ができて、とても勉強になりました。もっと難しい事を講義されるかと心配していましたが、とてもわかりやすく、興味深いものでした。ぜひこれからも研究成果を学生だけではなく一般人にも公開していただきたいです。

平成30年度実施プログラムアンケートの主な意見・感想

感想・意見(参加者)

《内容について》

- ・少し難しい内容だったが、実験前に講義や解説などがあったので、より分かりやすく、その後実験を行ったので理解が深まった。
- ・メダカの目を取ったり内ぞうをとるために切ったりする作業は初めてでよかったが、グロテスクだったのであまりしたくなかった。
- ・内容としては難しく、できれば中高を分けていただくと嬉しいなと思いました。
- ・大学生さんともっと話す時間がほしかった。
- ・説明が速すぎてついていきにくかったテーマがあるので、もうちょっとゆっくりしゃべってほしいと思いました。だけど、実験は、とてもおもしろかったです。
- ・医学的な放射線利用と、科学的な利用を4時間弱という短い時間でやってしまったので、ものたりなかった。午前と午後の二部に分けて、十分時間を使って欲しい。
- ・今回初めて参加して、9時間もあるの？長い、と思ったが、いざ始めれば9時間なんてすぐでした。楽しく分かりやすく研究が進めることができ良かったです。
- ・天気がとても残念でしたが、月・金星がとても綺麗に見れスタッフの皆様も親切・丁寧で良い時間を過ごすことができました。
- ・薬膳弁当やブレンドティー作り等を通して楽しく和漢薬について学ぶことができ良かった。和漢薬というと、苦かったり、匂いがきついものを想像していたが、中には良い匂いだったり、甘い味がしたりとても驚いた。集合時間よりかなり早く到着したが、スタッフが臨機応変に対応してくれ、開講式まで楽しく過ごせた。

平成30年度実施プログラムアンケートの主な意見・感想

感想・意見(実施者)

《経費について》

- ・中学高校生に大学の魅力を発信する非常に良い機会を提供できていると思っているので、是非この取り組みに対する予算措置を続けてほしい。
- ・毎年赤字となります。大学からの支援(講座経費)でまかなっています。申請額での交付をお願いいたします。
- ・予算をできるだけ早く使えるようにしていただきたいです。夏休みを狙って8月初旬に開催日を決めていますが、予算執行が6月初旬からしかできず、準備期間が2か月で短すぎると感じています。

《募集方法・広報について》

- ・夏休みの実施に関して、広報が出遅れ、また参加してくれることを期待していた高校の模試が重なり募集人員の確保が厳しかった。
- ・今回参加していた子供たちに今回応募した理由を聞いたところ、学校の先生にすすめられた、親にすすめられたという子がほとんどでした。広報活動は対象が中高生なので本人たちにむけてというよりは、親や先生に積極的に行ったらいいのではないかと思います。
- ・広報活動の強化が課題。参加者募集の段階で中高教員の反応はとても良かったが、申し込みに繋がらなかった。

《プログラム実施・内容について》

- ・内容は比較的優しいものを準備したつもりだったが、中学生など学年によっては理解するのが難しかったかもしれないと思った。染色体の切り貼りの時間など、中だるみ状態になってしまい、中高生の集中が途切れ、自由に話をしたり、遊んでいたりがいたのが気になった。
- ・小中学生2人に対して、大学生1人が担当するくらいが調度良いと感じた。今日は小中学生4~5人に対して1人の学生が担当したが、時間内に終わらず少し大変だった。
- ・特定の高校からの参加者が多すぎる場合、他の高校の生徒が議論に参加しにくくなるため、同一の高校からの生徒が同じプログラムに集まりすぎないようにできれば良いかと思います。
- ・プログラム開催にあたっては実施代表者、分担者、事務職員の連絡を密にすることがとても重要だと思いました。

《その他》

- ・受講生の申込時のメールアドレスが、生徒の入力ミスで間違っている場合があります。電話連絡しても通じなく、住所に参加通知を郵送して対応しました。今回は問題なかったですが、「10日前までに参加通知が届かない場合は、担当者へ連絡を取るように」との一言をエントリーのHPに記載するようにしたいと思います。
- ・今回は、平成30年7月豪雨の影響で、JR・道路に不通区間も多く、参加いただきにくい要因が多かった。最終的にキャンセルや申込みだけなかつた方はあつたが、豪雨災害発生前に申込みいただいた方々は全員参加され、特に実験に関しては興味を持って楽しそうに取り組んでいただいていたので、予定通り開催してよかったと感じている。
- ・早い時期に「本物」の研究現場に触れられるのは非常に良いと思いました。参加して下さった学生さんたちの楽しそうな顔がとても印象に残りました。
- ・子供たちの理科を楽しむ姿が見れてとても良かった。「こういうことを初めて知った!」「びっくりした!」「勉強になった!」等嬉しい言葉をたくさん聞け、私自身このような内容で人の心を動かすことができるのか、頑張ってたよかったですと感じました。